

定置網漁業 公表用実技試験問題（専門級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（3分）

ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。

（使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（10分）

①かえる又結び ②巻結び ③もやい結び ④バックスプライス

（使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 漁具の製作（10分）

①アイスプライス ②ショートスプライス

（使用機材） 中程度の太さのロープ2本、スパイキ、ビニールテープ

(3) 漁具の製作（30分）

次の模型網を製作する。

①1mのロープに浮子を3個固定し、垣網側網を製作する。

②目合約10cmの垣網を横5目×縦3目製作する。

③垣網側網に垣網を吊り綱（ボタン綱）で取りつける。

※詳しくは別紙参照。

(4) サンドバッグの製作（4分）

袋口が切れないように締めて、定置網の固定用サンドバック（土俵）

1個を製作する。

（使用機材） 土俵袋、砂

※詳しくは別紙参照。

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ワーピングエンドの操作（10分）

試験官の指示に従いワーピングエンドを起動、停止する。

ロープ20mを足元にコイルする。

（使用機材） ロープ20m、ワーピングエンド（縦ローラー又は

横ローラー）

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（3分）

定置網漁業で獲れる魚4種類の写真40枚を見て、魚種ごとに選別を行う。

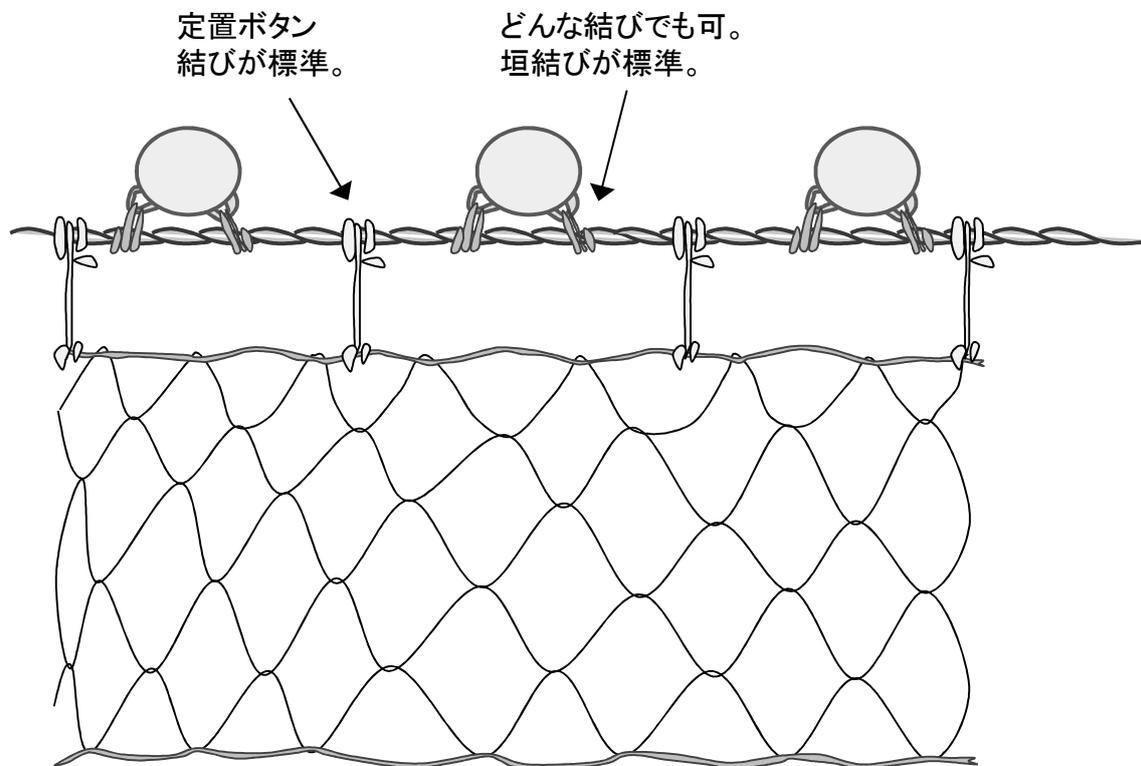
（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

以上

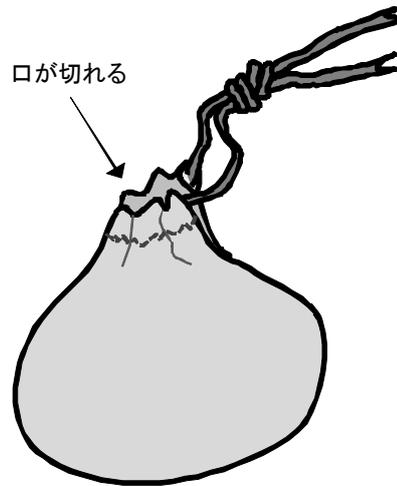
《別紙》 模型網の作成 (定置網・専門級)

- 使用機材
- ・ 垣網の側網ロープ直径 6~10mm のロープ 1m 程度
 - ・ 直径 10cm 程度の浮子 (耳付き) 3 個
 - ・ 浮子を側網に縛る紐 (網地修理用のスパン糸程度)、3m 程度
 - ・ 網地を編む糸、直径 0.5~1mm 程度の糸 5m 程度
 - ・ 網地を編むときのアバリ、1 個
 - ・ 網地の浮子側の縁網と沈子側の縁網、1m 程度を 2 本 (太さ 2~3mm)
 - ・ ボタン網として、1m 程度を 3 本 (太さ 2~3mm)

結び方は、ガイドブックのロープワークを見れば分かります。



下図のやり方では紐が通してある口の部分が切れてしまいます。陸上の使い方と違うので、紐が袋から離れない工夫が必要になります。



様々な方法がありますが、どれも構いません。一度口を締めて、折り返し、クラブヒッチでしっかり留めてから、袋の首を折り曲げて2回位袋首を巻き首の中を通して、完成。袋の首で縛る方法や、紐をダブルにして完成する方法もあります。

要は、最初の締めは①紐が袋の口を切らないようにすること、②袋の口（首）をしっかり閉じる、③袋の首に絡ませて、紐が切れるのを防ぎながら、力が袋全体にかかるようにする。

